

2022年9月27日

リコーリース株式会社

〈コード番号:8566 東証プライム市場〉

農林中央金庫とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

リコーリース株式会社(以下、当社)は農林中央金庫(代表理事 奥和登)との間でサステナビリティ・リンク・ローン(以下「SLL」)による金銭消費貸借契約(以下「本件ローン」)を締結しましたので、お知らせいたします。

SLLは、当社の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPTs」)を設定し、借入条件とSPTsの達成状況を連動させることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進することを目指すものです。

当社は、2020年度より開始した中期経営計画において、中長期ビジョンとして掲げる『循環創造企業へ』の実現に向け、サステナブルな社会を目指すための取り組みを推進しています。また、「クリーンな地球環境をつくる」ことをマテリアリティ(※1)の一つとし、再生可能エネルギーの普及など事業を通じた地球環境への貢献とともに、事業活動によるCO₂排出削減に向けて、2030年までにCO₂排出量63%削減(2015年度比)、2050年にはゼロとする中長期目標を掲げています。

本件ローンでは、当社の「サステナビリティ中期経営計画」に基づく目標を踏まえて、CO₂排出量削減(CO₂排出量(スコープ1,2)を、2022年度に773.8t-CO₂、2023年度に728.4t-CO₂、2024年度に683.0t-CO₂、2025年度に637.6t-CO₂、2026年度に592.2t-CO₂、2027年度に546.8t-CO₂以下とすること)と、CDP気候変動スコア(リーダーシップレベル(A、A-)を維持)をSPTsに設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたって、SLL原則への準拠性や、設定したSPTsの合理性について、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より第三者意見(※2)を取得しており、上記SPTsについては、野心度および有意義性等の観点からSLL原則に適合していると評価されています。

当社では、今後もSDGsの目標達成のための取り組みをより一層強化し、企業価値の向上に努めてまいります。

(※1) マテリアリティ

当社のマテリアリティや価値創造に向けた取り組みは、統合報告書をご参照ください。

『リコーリース統合報告書2021』:<https://www.r-lease.co.jp/csr/pdf/integrate2021.pdf>

(※2) サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性および設定したKPIとSPTsの合理性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:050-1702-4203(直通) Email:ir@rle.ricoh.co.jp